

【市営自転車駐車場、バイク駐車場の利便性向上を！】

■ 一時利用の自転車駐車場老朽化、一部に対応が必要です！

駅近くの新浦安駅第七自転車駐車場にて、数カ所が使用不可で不便とお声を頂いておりました。現場を確認したところ、施設 233 台の中、18 台分が故障で使用不可に。

隣の商業施設に停めれば問題なしですが、サービス提供者事業者として 18 台分が駐輪機会喪失で収入ゼロは痛手です。1 台/1 回 100 円で年間積算すると約 65 万円の喪失はコロナ禍を経て利用者減となっている自転車駐車場経営としては望ましくありません。早期整備による利用再開を主張したところ、今年度にリニューアル予定とのこと。新しい設備で事業収益を底支えしつつ、利便性向上が期待されます。



■ 原付二種バイク（51～125cc）駐車場の定期利用化を！

千葉オートバイ事業 協同組合様からの情報	国内 125cc 以下の原付バイク出荷・販売台数比率	
	原付一種（50cc 以下）	原付二種（51～125cc）
1993 年	83%	17%
2020 年	↓ 55%	↑ 45%



国内の原付バイク販売・出荷台数が、時代の流れとともに大幅に変化しています。浦安市原付バイク駐車場スペースでは、現時点で原付一種と原付二種との区別はしておらず、また利用スペースが満車になることはないため、利用スペースを見直す予定はなしとのこと。

そこで、原付二種（51～125cc）のバイクが増加傾向にある一方で、こちらは定期利用の契約が存在しておらず、一時利用が増加傾向であることから、定期利用化を質問。

市民経済部長からは「原付二種の定期利用の拡充についての検討が必要」との回答が得られ、**一歩前進**しました。

浦安市東野1-26-1-220
レクセルガーデン新浦安
電話 080-1156-5828
Mail: kichise4649@gmail.com
発行: いちせ健二 後援会

皆様からのご意見を
お聞かせ下さい！
【いちばん・真剣】に
取り組みます！



ツイッター
フェイスブック
インスタグラム
公式ホームページ等
こちらからご覧いただけます



LINE
公式アカウント
LINE
いちせ健二



令和5年 9月議会のトピックス

【不燃ごみ・粗大ごみの発火性危険物は、今一度確認を！】

■ クリーンセンター火災対応、その後について



4月10日に火災が発生したクリーンセンター不燃ごみ・粗大ごみエリア。一日も早い正常稼働を取り戻すため、令和5年度と6年度の継続費による追加補正予算が組まれました。広報うらやす9月1日号でも発表となった約15億円の工事費は、一度工事全体が終了してから

火災保険で補償がどこまで可能か対応となりました。火災発生要因は現在も不明ですが、再発は何としても防がねばなりません。今後は自動消火装置や監視カメラの設備増設はもとより、日常で発火性危険物（リチウムイオン電池など）を出される際には、今一度十分な確認をご協力願います。

【すい臓がん対策の重要性は上昇中、日頃からご留意を！】

■ すい臓がん対策の研究を！

【市民は何がんで亡くなっている？】

- 第一位：肺がん
- 第二位：すい臓がん
- 第三位：胃がん

【がん検診が行われているのは？】

- ・肺がん検診：実施中
- ・すい臓がん検診：**未実施**
- ・胃がん検診：実施中

※令和2年・3年の千葉県衛生統計より

■ 健康子ども部長

■ 市長


すい臓がんは早期発見が非常に困難とされており、現在、国内の医療機関等で研究が進められている。市として今後、国や県、他市町村のすい臓がん対策の動向を注視しつつ、調査・研究していきたい。

すい臓がん検診は、早期発見のための検診が確立されていないこともあり推奨しておりません。市の『がん条例』に基づき、がんの特性に合わせた知識の普及や環境の整備、医療・福祉サービスの情報提供に努め、地域の中核となるがん診療連携拠点病院と連携するなど、がん対策を総合的に推進していきたい。



【市内中小事業者の経営力向上に向けた取り組みを！】

■市と民間事業者で相互に協力しながら業務改善の促進を！

 DXの推進は市内だけではなく、市と取引している民間事業者も同時に業務改善に着手することを促します。現在の市の請求システムは、これまでの流れで一定の合理性はあった一方で、DXの可能性のある領域も存在すると考え質問。現状は押印・紙ベースの請求書が、支出命令書の証拠書類として活用されているとのこと。そこで、民間は法改正に伴い電子取引へ移行する流れから、電子化の環境整備を提案。財務部長からは「現在、財務事務の見直しについて検討を進めており、電子請求も、市内における財務事務の電子決裁を含め調査研究していきたい」とありました。

先進自治体：浜松市の電子取引事例と考え方

“「紙にとられない事務執行」を目指してペーパーレス化を図る”

民間事業者における効果	浜松市側の効果
<ul style="list-style-type: none"> 電子データでの書類の作成、及び発送による事務処理の効率化 紙出力の軽減 書類保管場所の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 支出事務の効率化 複製、改ざん防止等のコンプライアンス強化

民間事業者もメリット大！

■中小企業経営等アドバイザー派遣事業の充実で伴走型支援を！

市内事業者の振興及び市内で創業を予定している方の支援を目的に、8名の専門家を相談内容に応じて派遣する事業がスタートして18年が経ちました。市内経営環境も大きく変化してきていることから、活用事例を作成し幅広く紹介頂くとともに、オンライン相談の検討を質問しました。

市民経済部長からは「令和5年7月からは電子申請での受付を開始し、リーフレットも過去の相談事例を掲載するなど改訂を行った。オンライン相談は、時間や場所にとられずに相談を受けられ、事業者への利便性向上にもつながることから、導入を検討」との前向きな回答があり、**一歩前進**しました。



【公共施設の有効活用には売店・食堂の積極的活用を！】

市内全域から毎日多くの人が集まり、交流拠点でもあるUセンター。このUセンターにはカフェがあり、令和7年7月末に事業者の再選定期を迎えるため、さらなる有意義なカフェをめざして提案しました。



■Uセンターのカフェをさらに充実した空間へ！

Uセンターの入口は、誰もが入りやすくすることに配慮し、建設当初から別々に作られています。

Uセンターのカフェが「誰もが入りやすい仕組み」となることで、あらゆる世代に開かれたカフェとしての足がかりになることを期待し質問しました。

前回の事業者募集では『Uセンター利用者の便宜を図り、また近隣福祉施設利用者や近隣住民の休息の場とするため喫茶コーナーとしての充実を図ることを目的』とありました。

この目的に対する達成状況と、次回の事業者募集までに対処すべき課題について質問したところ、福祉部長からは「目的に沿った運営がなされているが、近隣住民等の利用が限られているなどの課題もあり、さらに多くの方に気軽に利用していただけるよう、スペースの有効活用も含めた検討が必要」と回答があり、**一歩前進**しました。

また、イベントの開催タイミングをとらえて意見収集の機会を設けるなど、今後の活性化へ前向きな取り組みも示されました。



東野のUセンター

【市民の声から現地調査をおこない、安全対策を実施！】



富士見3丁目旧江戸川沿い
堀江橋下にカーブミラーを新規設置



堀江2丁目ポルトベネーレ跡地
十字路にカーブミラーを増設